

連携テーマ **～地域を變する生徒の育成～**

幼小中高一貫教育だより

わだち

轍

発行：羅臼町幼小中高一貫教育研究会事務局 平成27年3月24日 第3号 (通算23号)

「ゴール」を定めた中高生徒会交流に

羅臼のイメージについて～リーダー研修で実現度を考える～

年が明けた1月9日（金）、公民館大ホールで、中高生徒会交流のリーダー研修会が行われました。今年度からこれまでの活動の方針や内容を見直し、新しい生徒会役員になった10月を開始時期にしました。この生徒会交流のゴールを「知床開きで何をするか」に設定し、動き始めています。

リーダー研修会では羅臼中（生徒5名）、春松中（生徒3名）、羅臼高（生徒7名）が集まり、グループワークを交えながら「羅臼町のイメージ」について話し合いました。

また、鈴木日出男副町長から「町の人口をどう増やすか」など町行政にかかる講演をしていただき、たいへん参考になりました。

教育委員会社会教育課の今泉亮人さんを研修講師として、「知床開き」を切り口に、羅臼町の将来像について研修をすることができました。

これまでも生徒会交流を実施してきましたが、「接続」を意識した交流会になり「連續性」と「一貫性」ができつつある会に変化してきました。

今年の「知床開き」が楽しみになりました。中高の生徒会の皆さん、がんばってください。



鈴木副町長からの熱い講演



今泉さんからも熱いメッセージ

第6回知床学士検定 24名合格

12月15日（月）に行われました第6回知床学士検定において、24名が合格しました。あと数点で合格！という生徒もいたようで、次に向けて再挑戦してください。ここ2年くらいは受検者数も少なかったのですが、今回は増えました。

これからも知床に生きる者として、一人でも多く挑戦してくれることを期待します。

実施年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014
全受検者数	47	46	41	21	16	35
全合格者数	39	38	20	17	9	24

高校生が学習サポーターに

羅臼町冬休み学習サポート学生支援事業「ワインタースクール」を実施

12月26日（金）に羅臼小学校、春松小学校の児童を対象に、各小学校で羅臼高校の生徒が「学習サポーター」として、小学生の学習補助をしました。

小学生にとっては、先生以外の人から勉強のアドバイスを受けるのはあまりないかもしれませんがどうだったでしょうか。

高校生にとっては、「勉強を教える（アドバイス）→ 自分の勉強にもなる」というとても良い機会となったようです。こうした体験が将来の職業選択をする上でのひとつのきっかけになればよいですね。

そして「教え合う、学び合う」という協働の学習スタイルが確立されていけば、勉強することが Pain（苦痛）から Pleasure（喜び、楽しみ）へと変わるはずです。



教えるって結構たいへんです

*****TOPICS*****

1 羅臼高校の先生が羅臼中に～数学と英語で乗り入れ授業



羅臼高の英語の先生による授業

2月24日（数学）と3月6日（英語）に、羅臼高校の数学と英語の先生が羅臼中学校3年生の生徒に授業を行いました。まだ始まったばかりですが、来年度に向けての大きな「一歩」になるかもしれません。

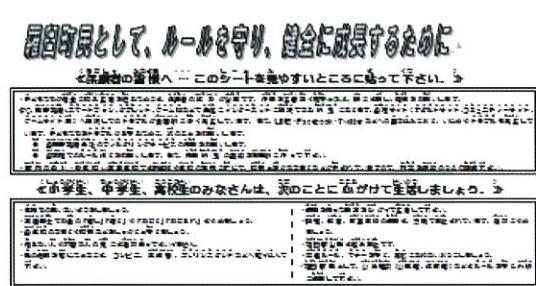
ほかの連携教育を実施している地域では週に1～2回乗り入れ授業を行うなどしており、学力向上の成果がでているようです。

2 羽臼町の「学習のきまり」、「生活のきまり」を配布します

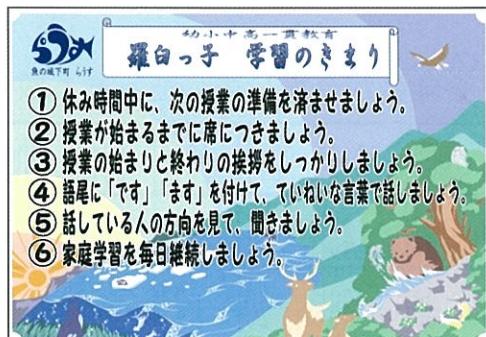
今年度、学力向上部会（主に学習・学力関係）と特別活動部会（主に生活、行事、部活動関係）では幼小中高の接続を意識した羅臼町ならではの「学習のきまり」、「生活のきまり」を作成しました。新年度になりましたら、各家庭に配布する予定ですのでご覧ください。



上 幼稚園児用のきまり



下 小中高生のきまり



羅臼町「生活のきまり」

編集後記

各園、各校、そして保護者、地域の皆様のご支援、ご協力のおかげで、事務局校としての業務を何とか終えることができました。ありがとうございました。

課題は山積していますが、「地域の子どもを地域で育てる」を合い言葉に一貫教育がますます発展していくよう次年度も羅臼町幼小中高一貫教育をよろしくお願いします。